

留学報告：(11/1~11/30)

自然が豊かな岩手県における、木質バイオマス資源の利用による循環型社会の実現を
スウェーデンから学ぶ

岩手大学 理工学部 化学生命理工学科・化学コース 4年 柴田史那

今月は最近の生活、授業、日本食パーティーの3点について報告しようと思います。

最近の生活についてです。私が住んでいるベクショーは岩手よりも寒くなるのが早くて、11月の初めには雪が降り始め、岩手の冬並の気温になりました。しかし寒くなってからの変化があまりなく、今では岩手と同じくらいの気温です。自然が豊かで寒すぎず良いところですが、ほぼ毎日天気が悪いのと、最近では日が昇るのは8時、日が沈むのは15時半と、だんだん昼間の時間が短くなってきて、日を浴びる機会が少なくなってしまったのが残念な点です。一番日が沈むのが早いのは12月13日のロシア祭の日で、2時くらいには暗くなってしまうそうです。ロシア祭は、光の象徴である聖女ルシアを讃えることで、日が長くなるように願う北欧で大切にされている行事です。スウェーデン人は日の短い生活に慣れているのかと思っていたのですが、やはり人間は太陽の光を浴びないと鬱になってしまうようで、冬はビタミン剤を摂取したり、家でろうそくの火をたいたりすることがメジャーなようです。スーパーにもビタミン剤コーナーがあって、色々な種類のビタミン剤が売られています。特に日光浴によっても生成されるビタミンDが不足すると鬱になりやすくなるようなので、ビタミンDを取ることが大切らしいです。スーパーは基本的に地元の方々が利用する場所なので、やはり国や地域によって文化や生活の違いがでてるように感じられます。今後どこかに旅行するときは、スーパーを見てみたいと思いました。

次に授業についてです。最近の授業で、新しい技術の普及に至るまでのマクロ・ミクロレベルでのビジネスモデルや、人々の意思決定モデルを学びました。また、授業の一環で企業のマネジメントを学ぶために実際に企業を訪れ情報収集をするという実践活動を行いました。私達のグループは Celltech Solution というスウェーデンのバッテリー会社を選択しました。バイオマス資源の事業を普及させるためにもビジネスモデルは重要な学習事項だと考えたので、ミクロレベルの技術普及について少し報告したいと思います。

新しい技術を広めるには多くの障壁があります。優れた技術であっても使用されなければ意味が無いため、技術を普及させるためには、新技術に対する人間の行動を知ることが不可欠です。人々は新技術を受け入れるなどの新しい行動を決断するとき、多くの要因から影響を受けます。たくさんあるのですが、ここでは5点述べたいと思います。1つ目に、新しい決定に関する情報が多すぎる、もしくは複雑な場合、現在の設定やデフォルトの設定を選択する傾向があります。つまり、労力をさいて新しい情報をかきあつめてよりよく新しい物

を取り入れるより、それなりのものを使い続ける方を好むということです。いくらバイオマス利用がいかに素晴らしいことか情報を発信したとしても、情報過多になってしまえば興味を持ってもらえない可能性があります。2つ目に、人々は最良よりもそれなりな選択肢を選ぶ傾向があります。3つ目に人々は長期より短期で得られるメリットを好む傾向があります。4つ目に人々はメリットよりもデメリットを気にする傾向があります。選択に少しでもリスクが含まれている場合、いかに多くのメリットがあるとしても、その選択はしない傾向があります。5つ目に人々は社会によって承認されたものを選択する傾向があります。例えば広告でも広告元が有名だったり認知度が高かったりすると、商品の信頼につながり、人々に受け入れられやすくなります。これらを考慮すると、新しい技術の普及、特にバイオマスエネルギーの利用を促進させるために効果的なことは、いかにシンプルかつ明確にバイオマスの魅力を発信できるかと、研究者、企業、地方自治体等の公的機関など、多くの機関が協力して環境保護に関する社会規範を確立させることです。社会規範を作り、公的な機関の意見が含まれる情報を発信することで、人々が信頼性を高め、このように行動するのが当たり前という姿勢になれば、消費者が行動を起こすような動機付けが容易になり、更にある程度の消費者がその姿勢を受け入れると、大多数に従う社会において、他の人々もその姿勢を徐々に受け入れていきます。これらは消費者の行動に関連するミクロレベルの変化の要素の一部です。新しい技術を普及させるためには、技術のことだけではなくて、人間の心理など多くの側面から考える必要があることを学びました。

次に日本食パーティーについてです。日本発信活動の一環として、2人の日本人に協力してもらい、手巻き寿司パーティーを主催しました。スウェーデンにきて、外国人に日本食について聞くと、大抵、寿司いいよね！という回答が返ってきます。ジャパニーズディナーパーティーではちらし寿司を振る舞う予定なので、せっかくだから色々な寿司を知ってもらいたいと思い、手巻き寿司を企画しました。手巻き寿司は巻き寿司やにぎり寿司より家庭の寿司というイメージなので、ぜひ家でも寿司を食べて欲しいと思い作り方も教えました。喜んでもらえて良かったです。



これで11月の活動報告を終わります。12月10日にバイオ燃料等バイオマスの利用を開発研究している storaenso さんを訪問させて頂けることになり、また12月前半にエネルギー会社にも訪問する予定なので、とても楽しみです。